



### 「響」 ～ひびき～

東宇治高校での3年間、様々なことがあると思います。その中で異なる個性や考えを持った仲間と刺激し合い、時に共鳴し、時に変化していったほしいと思います。そして自分自身の調べを響かせるとともに、44期生としての誇りを持ち互いに響かせ合うことで成長していったほしいという願いを込めました。



京都府立東宇治高等学校  
第3学年 学年通信  
第 1 号  
平成31年4月8日

### 3年学年目標

#### Vision and Hard Work

自律的な生活を送ろう  
人や社会とのつながりを意識しよう  
希望進路を実現しよう



いよいよ高校生活最後の「決定」の1年が始まります。人生の中でも大きな節目となる年です。今年度の学年目標は、”Vision and Hard Work” 自分の将来のビジョンは何だろうと考え、未来の自分に期待しながら、明るく前向きに本気で頑張ってもらいたい、という思いを込めて決めました。この言葉は、iPS細胞でノーベル賞を受賞された山中伸弥先生が日々の研究を続ける中でモットーとされている言葉です。人生は自分が主役です。自分の人生がどんなストーリーになっていくのか想像しながら、この1年間を一生懸命過ごしてください。そして、みんなで笑いあえる卒業式を迎えられますように。

担任一同、この1年が充実した1年になりますよう、保護者の方々とも協力しながら努力していきたくと思います。どうぞよろしくお祈りします。

#### 当面の行事予定

4月 9日 (火) 課題テスト (国・英)	23日 (火) 校外学習
通常授業開始	26日 (金) 進路ガイダンス、健康診断
10日 (水) 通常授業	27日 (土) 土曜授業
13日 (土) 土曜授業	5月21日 (火)～24日 (金) 中間考査

#### 各クラス担任からのメッセージ

##### 3年学年部長 7組 野村 美紀 (英語)

高校生活の最終学年になりました。これからの人生を決める大きな決断を迫られる年になります。残り少ない高校生活の中で、後悔のないように、今しかできないことに思いきり取り組み、しっかりと将来につながる力をつけてほしいと思います。たくさんの才能とパワーを秘めたみんなのつぼみが大きく花開くように、私も一緒に一生懸命頑張りたいと思っています。「世界にひとつだけの花」を咲かせるために、今この瞬間を大切にしていきたいと思います。

##### 1組 笹田 晴嗣 (数学)

皆さんは、これまでの2年間の高校生活で研修旅行、クラス活動、部活動をはじめとするさまざまな自主活動を経験してきました。その中で、生徒1人1人は成長をしてきましたし、学年としての集団でも立派にたくましくなってきました。今年度はこれらを継続発展させ、しっかりとした「学力」を身につけ、進路希望の実現につなげたいと思っています。今年もよろしくお祈りします。

## 2組 寺田 朋子 (英語)

春休みの間に、歴史の本を読みました。皆さんが今生きているこの時代は、多くの先人たちの築いた歴史の上にあります。世界を眺めてみましょう。皆さんが今いるこの場所は、広い世界の一部です。

今、皆さんは、希望進路を実現することで頭がいっぱいでしょう。それはとても大切なことです。しかし、卒業後も、社会の中で、前向きに自分のすべきことを見つけ、広い視野に立って、精一杯がんばれる人になれるよう高校生活最後の一年を送ってください。

## 3組 奥村 智 (保健体育)

「進路実現の神様は細部に宿る」

スポーツの世界では「運があった」「運がなかった」といった、運・不運で勝ち負けの要因を語ることがあるが、当たり前な事をきちんとやるのが、運を呼び込み、勝利を呼び込む。そのことを元サッカー日本代表監督の岡田武史さんは、「勝負の神様は細部に宿る」という言葉で表現されている。サッカーではちょっとした気の緩み、ちょっとしたサボりが勝負の行方を左右することがあると岡田さんは言う。当たり前なことを当たり前のようにやれない選手は、絶対に最後の大事なところでポロが出るのだと。その差が「運・不運」レベルの差になって、勝敗を分けるのだと。いよいよ進路実現の大切な年を迎える3年生諸君、スポーツも進路実現も同じで、当たり前な事をきちんとやるか否か、それが大きな差となって結果を左右するのだと思います。だとすれば、神様を味方につけられるような行いを、しっかり積み重ねよう。

## 4組 高橋 貴之 (国語)

いよいよ高校の最終学年を迎えました。この1年、自分がどのような方向に進んでいくのか、悩む機会が多いと思います。ここでしっかり悩みぬいた結果は、どのような結果になっても、今後自分が納得できるものです。しっかり悩み、答えを出し、高校卒業を迎えるようにしてください。ただ、高校卒業の進路先を決定することが、みなさんのゴールではありません。その先もイメージして、この1年間を過ごしてください。

## 5組 岡本 宇隼 (理科)

いよいよ最終学年、高校3年間の集大成となる1年がやってきましたね。これまでの学校行事や部活動などを通して、ゆっくと歩みを進め、成長してきたと思います。自信を持ってさらなる歩み続けて下さい。来年の3月にはそれぞれが、誇れる未来に向かってさらに一步を踏み出していく姿を見送りたいと思っています。昨日の、卒業生とのやりとりの一コマ。「今までこんなに勉強したことはなかった。(中略) やり抜いたからこそこの合格がある」皆さんにも「やり抜いた！」と振り返られる悔いのない1年にして欲しいと心から願っています。

## 6組 西川 祐美 (国語)

これから始まる1年間を一言で言うならば、「決断の年」でしょう。1年後、みなさんはどんな道を決断しているでしょうか。その日まで自分ができる努力をしましょう。結果と決断を受け入れられるような日々を過ごしてください。

またこの1年間すべての行事に「高校最後の」という言葉がついてきます。一人一人が力を出し合い、悔いのないように全力投球してほしいと思います。またみなさんの素敵な姿が見られると思うと今から楽しみです。自分の殻を打ち破り、いつも「昨日より成長した自分」を目指していきましょう。